

昭和三十三年・武家屋敷通り
写真提供／仙北市



昭和二十九年・横町橋のやや上流
写真提供／松野八氏



角館のサクラ 文化財指定 50周年記念 シンポジウム

令和7年

5月18日

午
前
の
部

サクラ施肥活動「お礼肥え」

場所：仙北市角館町松木内川堤桜並木 横町橋から古城橋間

時間：10時～11時30分

事前申し込み：4月1日(火)～5月16日(金)／土・日、祝日を除く8時30分～17時15分

連絡先：仙北市観光文化スポーツ部文化財課 TEL 0187-43-3384

午
後
の
部

シンポジウム《入場無料・申し込み不要》

場所：仙北市角館交流センター 〒014-0368

秋田県仙北市角館町中菅沢 77番地30

時間：12時45分～16時30分

基調講演

講師：黒坂 登 氏 (仙北市さくらアドバイザー)

演題：「角館の桜守の記録 ～文化財指定後50年を振り返って～」

角館中学校2年生による桜診断結果報告会

発表者：角館中学校2年生
代表生徒数名

パネルディスカッション

テーマ：「50年先へ角館のサクラを引き継ぐために必要なこと」

コーディネーター：蒔田 明史 氏 (秋田県立大学理事兼副学長)

パネリスト：橋場 真紀子 氏 (弘前市公園緑地課管理係主幹 桜守)

小田野 直光 氏 (角館武家屋敷小田野清右衛門主水家 第14代当主)

田中 厚志 氏 (文化庁文化財第二課文化財調査官)

田口 知明 氏 (仙北市長)

さくらまつりポスター展

KAKUNODATE

サクラとともに50年先の未来へ

《主催》仙北市 《後援》秋田県／秋田県教育委員会／仙北市教育委員会／秋田魁新報社／朝日新聞社秋田総局／毎日新聞社秋田支局／読売新聞社秋田支局／産経新聞社秋田支局／河北新報社／共同通信社秋田支局／時事通信社秋田支局／NHK秋田放送局／ABS秋田放送／AKT秋田テレビ／AAB秋田朝日放送／エフエム秋田／公立大学法人秋田県立大学／アステリア株式会社／仙北市角館町文化財保護協会／(一社)田沢湖・角館観光協会

お問い合わせ：仙北市観光文化スポーツ部 文化財課 〒014-0392 秋田県仙北市角館町中菅沢81番地8 TEL 0187-43-3384・FAX 0187-54-4102

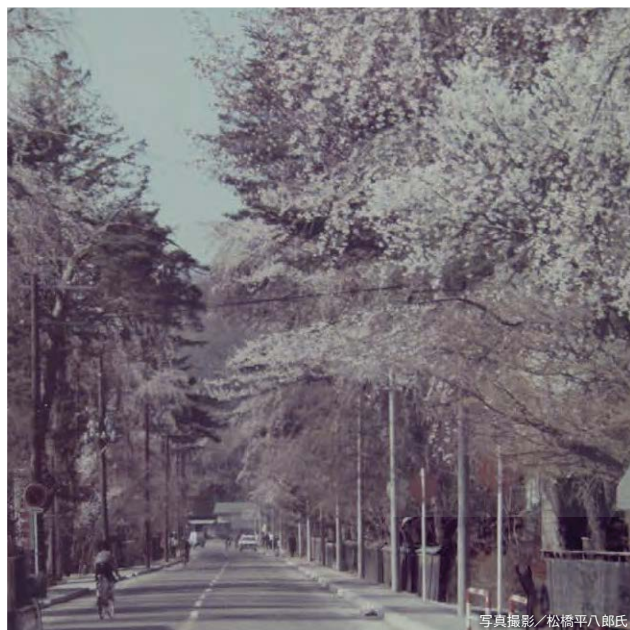
このシンポジウムは宝くじの社会貢献活動に関する補助金を使用して実施します。





写真撮影／松橋平八郎氏

国指定名勝「檜木内川堤(サクラ)」は、角館町の西を流れる檜木内川左岸堤防上の道路の両側にあるソメイヨシノの並木で、総延長約1,950メートル、総本数409本である。昭和9年(1934)4月に、平成天皇の誕生を慶祝するとともに、檜木内川堤竣工を記念して町民有志や小中学生によりソメイヨシノの二年生の苗木が植栽された。3・4年目からは条件の良い場所で開花が見られ、昭和23年(1948)には、当時の角館町商工会の主催による観桜会が盛大に催されて、「花のトンネル」の名が広まっていた。その後、河川改修計画に伴って伐採が検討されたものの、桜並木を残したいという町民の強い熱意があり、檜木内川左岸堤防が昭和50年(1975)2月18日に「檜木内川堤(サクラ)」として国の名勝指定を受けた。名勝指定後、桜並木の保存のために仙北市によって整枝や病虫害防除、施肥などの管理が行われているほか、昭和63年(1988)以来現在まで続いている角館中学校2年生による施肥活動など、市民による保護活動も行われている。



写真撮影／松橋平八郎氏

国指定天然記念物「角館のシダレザクラ」は、旧藩時代(江戸時代初期)武家屋敷の各戸ごとに植えられたもので、胸高直径最大のもは1メートルを超え、樹高も20メートルを超えるものがある。このサクラは、エドヒガンが枝垂れるようになったもので、花色は白系と淡紅色があり、花期には角館町に伝統的な美観をもたらし、市街地内に古くから受け継がれたシダレザクラの群として他に類を見ないものとして、昭和49年(1974)10月9日に、国の天然記念物指定を受けた。角館のシダレザクラは、1660年頃に京都から運ばれたシダレザクラの苗に由来すると言われている。その後、角館町東勝楽丁西側(旧仙北市役所角館庁舎跡地付近)に居住していた佐竹豊前守の家臣梅津定右エ門邸の庭園木であったシダレザクラの親木をもとに、角館の町中に広がったと古老は伝えている。当初は計153本のシダレザクラが指定されていたが、枯死と追加指定によって増減し、現在は計162本のシダレザクラが指定されている。

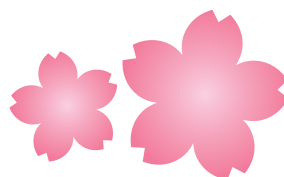
基調講演

「角館の桜守の記録 ～文化財指定後50年を振り返って～」



講師：黒坂 登 氏 (仙北市さくらアドバイザー)

昭和23年(1948)6月27日生まれ。昭和43年(1968)から平成21年(2009)まで現仙北市(旧角館町)で、主に角館のサクラの保安全管理業務に取り組む。平成8年(1996)には、全国の町村職員(市を除く)で初めて樹木医に認定され、角館のサクラの樹勢の維持改善に貢献した。日本さくらの会によるさくら功労者個人表彰を受賞するなど、全国的に桜の専門家として功績が認められている。現在は仙北市さくらアドバイザーとして、サクラの保安全管理の支援を行っている。



角館中学校2年生による桜診断結果報告会

発表者：角館中学校2年生 代表生徒数名

パネルディスカッション

「50年先へ角館のサクラを引き継ぐために必要なこと」

コーディネーター：蒔田 明史 氏 (秋田県立大学理事兼副学長)

パネリスト：橋場 真紀子 氏 (弘前市公園緑地課管理係主幹 桜守)

小田野 直光 氏 (角館武家屋敷小田野清右衛門主水家 第14代当主)

田中 厚志 氏 (文化庁文化財第二課文化財調査官)

田口 知明 氏 (仙北市長)

さくらまつりポスター展

みちのく三大桜(仙北市、弘前市、北上市)各所の歴代さくらまつりポスターの展示会

